

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
110025	X-01/31-A-1-110025	2	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年
コミュニケーション論	田中 敦			【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	基礎	選択	1年
				【1年次生】経営情報学部経営学科	基礎	選択	1年
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	基礎	選択	1年
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	基礎	選択	1年
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	基礎	選択	1年

授業目的

情報化社会において、多様な手段と方法で行われるコミュニケーション行為の成り立ちを理解し、そこで送受信される情報を読み解く能力を養成する。

自ら情報を収集し、その内容を分析する課題に取り組むことで、マス・メディアの情報発信に対して問題意識をもって向き合う姿勢を身につける。

各回毎の授業内容

第1回

【授】ガイダンス、コミュニケーションの諸相
授業概要を説明、各種コミュニケーションの形式を確認する
【前・後】復習2時間

第2回

【授】イントロダクション：人工知能とコミュニケーション
コミュニケーションが成立する条件について考える
【前・後】予習2時間（配布資料を読むこと）、復習2時間

第3回

【授】言語とコミュニケーション
言語記号による情報伝達、コードとメッセージについて学ぶ
【前・後】予習2時間（配布資料を読むこと）、復習2時間

第4回

【授】会話とポライトネス
メッセージの読解、対人配慮行動について学ぶ
【前・後】予習2時間（配布資料を読むこと）、復習2時間

第5回

【授】異文化コミュニケーション
コミュニケーション行動と文化背景の関係について学ぶ
【前・後】予習2時間（配布資料を読むこと）、復習2時間

第6回

【授】第1回課題演習
視覚記号の実例を探して、それが表す意味を分析する
【前・後】課題レポート作成4時間

第7回

【授】ソーシャル・メディアとコミュニケーション
メディアの違いによる情報伝達の仕組みについて考える
【前・後】予習2時間（配布資料を読むこと）、復習2時間

第8回

【授】マス・メディアとコミュニケーション
マス・コミュニケーションの特徴と手法について考える
【前・後】予習2時間（配布資料を読むこと）、復習2時間

第9回

【授】広告とコミュニケーション
説得的コミュニケーションの手法について考える
【前・後】予習2時間（配布資料を読むこと）、復習2時間

第10回

【授】第2回課題演習
広告のメッセージと、それを伝える方法を読み解く
【前・後】課題レポート作成4時間

第11回

【授】メディアとプロパガンダ
マス・メディアが世論形成に与える影響と、その手法を分析する
【前・後】予習2時間（配布資料を読むこと）、復習2時間

第12回

【授】ステレオタイプとヒューリスティクス
記号が特別な意味を生み出す仕組みを分析する
【前・後】予習2時間（配布資料を読むこと）、復習2時間

第13回

【授】コミュニケーションと社会
情報化社会のコミュニケーションのあり方を考える
【前・後】予習2時間（配布資料を読むこと）、復習2時間

第14回

【授】第3回課題演習
マス・メディアの情報発信の狙いを分析する
【前・後】課題レポート作成4時間

第15回

【授】まとめ・全体総括
これまでの学習内容を振り返り、コミュニケーションの構造をまとめる
【前・後】復習6時間

第16回

【授】定期試験
(小論文形式の筆記試験を予定)

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験	20	30					50
小テスト・授業内レポート		10	10		10		30
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							20
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							

成績は、期末試験の点数(50%)、課題レポートへの取り組み(30%)、授業参加状況(20%)を合わせて、総合的に評価する。

課題レポートについては、優秀な考察を授業内で取り上げ、講評を行う。

教科書参考書

教科書を事前に購入する必要はない。参考文献は、授業の中で適宜紹介する。

受講に当たっての留意事項

知識や理論を一方向的に習うのではなく、学んだ理論を用いて実践的な「分析」に取り組んでもらうので、積極的に題材を探し、自分の言葉で考えられることを受講の条件とする。

学習到達目標

各種メディアによるコミュニケーションの構造を理解し、そこで送受信される情報を、自分なりに分析して理解することができる。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習